

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年1月20日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大田区立道塚小学校		代表者名	大場寿子
担当者部署	校内研究会		連絡先電話番号	03-3732-9616
担当者役職	校長	担当者氏名	大場寿子	連絡先E-mail
住所	144-0054 東京都大田区新蒲田3丁目3番18号			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松田 孝
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	①ICTを活用していない「理科」授業において、45分間の授業観察の後、適切な評価を授業者及び分科会で指導をいただけたこと ②研究授業協議会において、今後のICTを活用した授業がなぜ必要か、どのような資質能力を育てるのか、また、どこから推進するかなど大変具体的に学べたこと
アドバイザーへの要望事項	引き続き、教職員のスキルアップと児童の学ぶ意欲の向上のために定期的な実技研修をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年1月20日	13時00分	16時30分		210
3-2. 派遣場所	会場名			最寄駅	JR蒲田駅
	所在地			最寄駅からの交通手段	
	派遣形態				

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 教員 地域有識者 大学教授 教育員会指導主事	人数 39人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	①「未来ものづくり」に関する単元開発を推進するにあたって、ICTの活用が必須事項となり授業のどの場面に活用できるか具体的なアドバイスが必要であった。 ②GIGAスクール構想による、「一人一台の端末」と「高速大容量の通信ネットワーク」の一体的な整備が進行する中、組織的な推進が遅れていたこと。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	①教員のICTスキルと意識の向上が図れること。日常的に授業で活用できること。 ②「未来ものづくり」に関する単元開発におけるICTの活用を場面を構築すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①授業の「振り返り活動」において、特に、児童一人一人に必ず振り返りをICTを活用してつづらせること、またその内容をクラスで一覧化し、共有化すること。さらに、その内容について、個々に友達同士評価を送りあうことで、クラスの人間関係を豊かにし一人一人の学ぶ意欲を確実に高めることができるということ。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	①教員の意欲が具体的に上がり、今後の授業によって改善できる見通しがもてた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容(具体的にご記入下さい)	本校の教育実践における「振り返り活動」のICTの活用は、今後の実践を待つところである。そのため、実施後に成果を共有化し、さらなる課題を明確にしたい。	

アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>校内研究会への講師講和と分科会における指導助言であったため、参加した教職員へのアンケートは通常実施していないため。しかしながら、参加者はすべきことが分かったという感想を多くの方が伝えてくれた。</p>	
---------------	---	--

5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
------------	---------------------	-----------------

事業の最終的な目指す姿	松田先生から学んだ方法によって、ICTを活用した学び方のスタイルが教師・児童共々に変わり、児童の学ぶ意欲が向上した手ごたえを感じられるように教師になること。また、その実践が大田区の研究校として発信できること。
-------------	--

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

